

令和 6 年度第 3 回千葉県県土整備公共事業評価審議会 議事録

1 会議の日時 令和 7 年 1 月 22 日（水）午前 10 時から午前 12 時

2 場 所 千葉県庁南庁舎 4 階会議室

3 出席者

（1）委 員

（オンライン）轟朝幸、手計太一、渡部大輔、磯野綾、高橋岩仁、二村真理子、

吉村晶子、小坂泰久

（名簿順、敬称略）

（2）関係課

道路計画課、河川整備課、市街地整備課、県土整備政策課（事務局）

4 審議会に付した議題

（1）評価実施要領に基づく評価を実施する事業について

（2）その他

5 議事の概要

- ・ 審議状況の公開について確認（千葉県県土整備公共事業評価審議会運営規程第 7 の規定により、今回の 3 件について公開で審議することを確認）
- ・ 傍聴者の入室（傍聴者 0 名、報道関係者 3 名）

■議事（1）評価実施要領に基づく評価を実施する事業について

① （道路事業）主要地方道野田牛久線

都市軸道路 利根川橋梁（仮称）

（事業担当（道路計画課）より事業内容を説明）

○会 長：ありがとうございました。

それでは今説明をいただきました件について、委員の皆様から御質問、御意見、何かございますでしょうか。

○委 員：御説明ありがとうございました。

この都市軸道路、T X 沿線の開発も進んでいますので、非常に意義の大きい事業だと思っております。

今回は茨城県と共同で事業を行うということですが、茨城県でもおそらく事前評価同様のプロセスがあると思いますが、そちらの説明資料は、今回と同じ内容で茨城県側でも審議をして、両方で、認められた場合に事業が進むということによろしいでしょうか。

- 事業担当：B／Cの算出の部分等は、千葉・茨城で共通のものでございます。千葉県にとっての効果や茨城県にとっての効果など、それぞれが説明する内容については、茨城県の方で全く同じ資料でやるということではないと、御理解いただければと思いますが、基本的に説明内容は同様であり、今回の評価委員会に関しては、千葉県議会の開会が早いため、千葉県が2週間ぐらい先行して、茨城県は2月中旬に行うと伺っています。

以上でございます。

○委員：わかりました。ありがとうございました。

○会長：ありがとうございます。

私も同じところが気になりましたので、重ねて質問させていただきます。

事業費について、全体事業費が冒頭の方では、498億円とあります。B／Cのところは、千葉県負担分になっていると思いますが、この考え方について、どのように整理されているか教えていただけますでしょうか。

- 事業担当：B／Cの算出は、千葉県と茨城県が合算値でございまして、茨城県と合わせたものとなっております。3ページの全体事業費498億円ですが、これを現在価値化して、今の時点だと総事業費が安くなっております。事業期間が長くなるため、社会的割引率をかけて、今の時点に換算すると、将来としては割り引かれ、割り引いた後の事業費が291億となっております。

○会長：数字が近かったので千葉県負担分のみと勘違いしましたが、理解しました。

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

○委員：交通需要に関して、2点お伺いします。

1点目として、5ページに関連して、今回、周辺道路及び千葉県から茨城県への渡河にあたっての時間短縮についての御説明はいただきましたが、この橋、道路ができることによって、ここが混雑区間になるという可能性はないのか、この橋の交通需要に対する効果についても見込んでいるということで良いか御説明をお願いします。

2点目として、10ページに先ほど御説明があったとおり、この周辺の人口は今後2倍近くに増えていく予定であるということですが、柏市全体、或いは近隣地域の人口増を見込んで、交通需要予測をされているのか。今回は暫定2車線ということなので、4車線に完成した際には、そういった交通需要を十分賄えていくというような予測なのかもしれませんが、そういった交通需要に対しての人口増を踏まえた考え方も追加で御説明いただければと思います。

以上です。

- 事業担当：まず、今回のB/C算出にあたって使用した、資料13ページに記載する推計交通量2万2200台ですが、これは暫定2車線での推計交通量であり、今回の暫定2車線の整備で慢性的な混雑は発生しないものと考えております。

需要推計にあたっては、ここに記載のとおりH27センサスを使用しており、これは道路交通の国勢調査のようなもので、現在の様々な交通量の調査を行った上で、どの地域にどういう移動が発生するのかというOD調査を合わせて行ったものです。

将来、どれぐらいの移動が起これるのかについては、国から示された数値があり、それに基づき、交通量の将来推計をしたところ、2万2200台となりました。

今後、まちづくりが進展していくことで、今の推計交通量を大幅に超えるようなことがあった段階で、また次の完成4車線化を目指していくといったところでございます。

また、もし開通直後に交通渋滞が発生した場合には、速やかに暫定2車線から4車線化を検討していくことを考えています。

以上でございます。

- 委員：わかりました。2車線と4車線の事業の取り扱い、事業の展開を確認できました。

ありがとうございました。以上です。

- 会長：はい。ありがとうございます。

この地域は様々な開発が進んでいますので、おそらく、これ以上の需要があるのではないかということは想像できると思います。

その他いかがでしょうか。

- 委員：事業費について、現在でも、いろいろ高騰している中で、今後、事業を始めてから、莫大に上がっていくことになるということ、そのあたりはどの程度予測されて

いますでしょうか。おそらく現時点で計算せざるを得ないので仕方がないとは思いますが。

また、鉄道周辺で施工されるので、後々に事業費が膨れてくるとか、工期が延びるといったことはないのでしょうか。

以上2点について、御説明をお願いいたします。

- 事業担当：事業費については、今、物価高騰が上昇トレンドにある中で、現時点の最新の単価で計上しております。将来、どれくらい上がるかというところは、見込んでおりませんので、今後、更に物価高騰が進んでいく場合には、事業費が増えてしまう可能性はあり得ると考えています。

また、鉄道近接については、我々も今回、鉄道近接に配慮しなくてはいけないところで、鉄道事業者とも協議しながら、施工方法や、河川区域内の工事で様々な制約があることを考慮して、通常よりも長い事業期間を設定しております。

- 委員：事業期間については、織り込み済みということですね。

事業費については、現在のスキームでやらざるを得ないということがあると思いますので、仕方ないですね。承知しました。

- 会長：ありがとうございます。

事業費については上昇トレンドということで、重ねてとなりますが、費用が10%増えたとか、そういった場合に、費用便益比がどうなるかとかという計算は、マニュアルでは実施することになっていると思いますが、これはどうでしょうか。

- 事業担当：感度分析を行っておりまして、事業費については±10%で行った場合には、いずれもB/Cは1.0を上回っていることを確認しています。

変動係数事業費については±10%で幅の中で収まっているということで、逆にその事業費が10%増加した場合でも、1.0は上回っていると言ったところでございます。

以上でございます。〔会議後確認：事業費±10%で $B/C = 1.2 \sim 1.4$ 〕

- 会長：わかりました。

このくらいの数字であれば大丈夫かなとは思いますが、そういったところも確認済みということですね。承知しました。その他いかがでしょうか。

- 委員：先ほど、すでにTX建設時に施工済みの区間があるということですが、その部分の費用に関しても、今回費用の中に含まれていると考えてよろしいでしょうか。

- 事業担当：この一体下部工ですが、かつて整備したところについては、鉄道事業者とアロケーションを既にやっていて、これについては今回のB／Cの事業費には含まれていません。

今回、3ページの右上で赤く着色している箇所が、施工範囲を示しています。鉄道と一体下部工となる利根川渡河部分の0.9キロ分はこの構造ですが、今回作る桁の部分から今回、事業費として計上しています。

○委員：ありがとうございました。

○会長：ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

いくつか御意見いただき、事業費の件とか気になるところでありますが、B／Cにのらない部分のまちづくりなどの開発が進んでいるということもあります。B／C 1.3という数字は、私の感覚としては少し小さいと感じております。

もっと大きな数字が出てもいいのではないかと思います、ということを私からコメントさせていただきます。

では、大体皆さんの御意見、出揃いましたので、まとめたいと思います。

今回の都市軸道路 利根川橋梁（仮称）新設事業について、対応方針案のとおり事業着手について了承としてよろしいでしょうか。御異議ございませんか。

（異議なし）

御異議ございませんので、本日、審議会の意見は対応方針案のとおり、事業着手は妥当ということで、決定いたします。ありがとうございました。

② 社会資本整備総合交付金（河川事業）

二級河川 矢那川水系 矢那川

（事業担当（河川整備課）より事業内容を説明）

○会長：ありがとうございました。

それでは、委員の皆さんから御質問、御意見いただきたいと思います、いかがでしょうか。

○委員：ありがとうございました。

余談ですが、木更津は遠いところだなと思っていたら、実は木更津から通っている学生がいて、東京までバス１本で来られるということで、すごく発展しているということを、私も何度か行ったことがあり感じていたところです。

街の印象も、行く前はシャッター街のようなイメージをしていましたが、すごく発展していて、お店もたくさんあって、ちょっとびっくりした覚えもありました。

そういった意味で、市街化がすごく進んでいるなと感じておりましたので、数値的にも今日お示しがあって、実態とお示しされたことがとても共通していて、よく分かりました。

コメントですが、国の直轄河川の審議会では、１８ページにあるような便益に含まれない効果の中で、想定死者数や災害時の要援護者数、最大孤立者数、電力停止による影響人口といったものも数値化されて、いわゆる便益に含まれないのだけでも効果が高いということをお示ししている事例も多くあります。

今回、浸水面積がそんなに大きくないので、あまり定量化はできないかもしれませんが、そういったことも、今後、補完材料として、他の河川なども含めて、投資効果としてお示しすると、さらに説得力が増すのではないかなと思いました。

事業自体は賛成です。以上です。

●事業担当：ありがとうございます。

○会 長：ありがとうございます。木更津はおっしゃるとおり市街化が進んでいるのですが、実はこのところが少し古い市街地で、シャッター街が並んでいる状況なのですよね。それでも、こういう整備によって、しっかりとまた再整備が進めばいいなと私は願っています。

他にいかがでしょうか。

○委 員：ありがとうございます。

この事業、昭和６３年から開始ということで、既に３０年以上の時間が経っていると思いますが、その当初計画から、かなり大きくこの整備計画は変化しているのかというところを教えてくださいませんか。

●事業担当：先程の事業の進捗のところの資料で御説明をさせていただきます。

この事業、８０億円の非常にコンパクトな事業で、なぜこれほど長い時間がかかっているのかという話があると思いますが、この富士見橋の周辺で地権者の御協力がなかなか得られず、その間、上流側に向けて護岸整備を進めてきました。

そのため、この事業区間の980メートルの中の下流側にある富士見橋の架け替えができず、ボトルネックを抱え込んだままとなってきましたが、今回、用地交渉が実って、富士見橋の架け替えができるようになったところです。

これから少し事業を加速化していきたいと考えておりますが、非常に長い年月がかかっているというのが現状でございます。

そのため、事業規模や、やり方が大幅に変わったというわけではございません。

以上です。

○委員：なるほど、ありがとうございます。

本事業、大変に重要な事業であると思いますが、30年前の計画の際の降雨量と現在の降雨量は相当違うと思うのですけれども、現在の非常に厳しいゲリラ豪雨のようなものが降っても、特に問題がないというような理解でよろしいということでしょうか。確認でございますが、御説明お願いいたします。

●事業担当：降雨の計画に関しては、例えば、近年、局地的に非常に強い雨が降ったりといったことがございますが、この矢那川の計画上は、過去に観測している降雨から推算した河川計画になっております。

そのため、例えば、将来的な降雨量の増加や、気候変動に伴う上乗せ分については、見込んでおりません。

また、木更津周辺の降雨のトレンドとして、平成年代、平成30年代当初、昭和の観測値を入れて比較していくと、河川計画を大幅に超えるような形で雨量が増えているわけではありません。

短時間の強い雨がニュース等で放映されるようになって、スマートフォン等で観測値がすぐ見えるようになったので、雨が強くなっていると感じやすくなっていると思いますが、計画上大幅に見直すような状況ではございません。

ただ、将来的には、矢那川だけではなく千葉県ほかの河川も含めて、気候変動要素は見ていかなければなりませんので、県全体の気候変動要素の適用の仕方について反映していくときに、まだ事業が継続していれば、矢那川についても多少見直しが生じるものと思いますが、当面は、今の河川計画のまま進んでいく予定です。

以上です。

○委員：承知しました。ありがとうございます。

ここは古い街だというお話が先ほどありましたが、古い街であるということであれば、恐らくお住まいの方たちも高齢の方も多いと思います。一度こういうような災害が起きてしまうと非常に打撃も大きいと思いますので、できるだけ早くお進めいただきたいかなと思いました。

以上でございます。

●事業担当：ありがとうございます。

○会 長：ありがとうございます。気候変動の件は、今後の大きな課題だと思っております。
他にいかがでしょうか。

○委 員：御説明ありがとうございます。

先ほどの御質問と関係するようなところなのですが、事業が始まってから30年以上経っている中で、全体の進捗率が24%であり、あと10年程度で残りの事業を進めていくということで、その見通しについて教えていただけますでしょうか

●事業担当：これまで用地交渉をしながら、少し足踏みしていたところがございますが、その間も、令和17年度末の事業工程の中をどの手順で進めていくのかということについては、出先の事務所も含めて共通認識を図ってきております。

また、今後、富士見橋の架け替えが進んでまいりますので、事業費をいかにしてまとめて確保しながら、大ロットで工事を進めていくかというところが若干課題であると思っております。

予算の投入の仕方と、どのような交付金、もしくは、個別補助の補助金を、どのように使っていくのかというところをこれから考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○委 員：非常に重要な事業だと思いますので、一刻も早く、計画どおりに進めていただければと思います。

ありがとうございます。

●事業担当：ありがとうございます。

○会 長：ありがとうございます。

本当に長くかかっていて、先ほどお話もありましたように、洪水と気候変動のリスクが高まっていることもありますので、早くしっかりと進めていただければと思います。

他にいかがでしょうか。

○委員：御説明どうもありがとうございました。

私も大変重要な事業だと思いますので進めていただきたいところですが、2点質問がございます。

1点目は、昭和63年から令和17年が事業期間ということですが、事業が始まった昭和63年当初から、こういう計画だったのでしょうか。ある程度、用地取得の困難が見込まれる地区であろうということで、長い期間を取っていたのでしょうか。また、もし事業期間を延長した経緯がありましたら、それはやはり用地取得が問題だったのかということを確認させていただければと思います。

2点目は、その用地取得率について、現在90%まで進捗しているということなのですが、用地取得のネックがあったという富士見橋周辺の用地が取得できたということで、その部分はこの90%に含まれているのかどうか。そのネックが解消しても、まだなお10%残っているという状況なのか。その辺りの用地取得について、もう少し教えていただけたらと思います。

●事業担当：今、画面のところでお示ししている、用地のネックの話ですが、矢那川橋から證誠寺橋の区間においては、用地のネックは解消されています。ただ、證誠寺橋から大正橋の区間では、まだ一部買えてないところが10%ほど残っております。

それから、事業工期については、前回、令和元年度の再評価において、令和17年度まで工期を延伸させていただいております。昭和63年にスタートしたときには、これほど事業工期が延びるとは思っておらず、当時は、平成の初頭には事業が完了するだろうという目論見でスタートしておりますが、令和元年の事業評価において、残りの事業を考え一気に令和17年度まで延ばしております。

以上です。

○委員：それはやはり用地取得の問題からでしょうか。

●事業担当：はい。令和元年の事業評価の際は、この富士見橋付近に未買収地があり、事業が進む見込みが立っておりませんでした。今回、御協力いただけたということで、富士見橋が進み出したところになっております。

以上です。

○委員：富士見橋、大変困難な交渉を成功されたということで、他の区間のところも、それをはずみに用地取得していただいて、どうぞ進めていただければと思います。

ありがとうございました。

●事業担当：ありがとうございます。

○会 長：ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。

○委 員：御説明いただいたこの事業については、非常にいろいろな御検証をしていただいており、そのとおりだと思っております。

ただ、この地域は、もともと低い場所でございます、水が流れるのはヘッドと
いいますか、水位差で流れるということを考えると、総合政策的には、下水道の
雨水幹線の整備をして、直接海のほうに流すというのが最も効果的な話かなと思っ
ておりまして、それを感じたところでございます。

これに対する回答はいただきませんが、實際上、トータルでの検証が必要なのかな
と思っております。

以上です。

○会 長：ありがとうございます。今お話のあったような複合的な整備もぜひ進めて
いただければと思います。

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、皆様の意見をまとめたいと思います。

皆様からも、概ね事業を進めていただきたいという意見ございましたので、
河川事業、二級河川矢那川水系矢那川について、対応方針案のとおり、事業継続を
了承としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

御異議ございませんので、本審議会の意見は、対応方針案のとおり、継続という
ことで決定させていただきます。

ありがとうございました。

●事業担当：ありがとうございました。

③ 社会資本整備総合交付金（土地区画整理事業）

金田西地区

(事業担当(市街地整備課)より事業内容を説明)

○会 長：それでは本事業について御審議をお願いいたします。

御質問、御意見等ございましたら、御発言をお願いします。

○委員：6 ページで、住宅地の一部がまだ整備中であるとの話があった一方で建物移転は 100 パーセント終わっているとの記載がありますが、これは、想定している移転の計画戸数が 100 パーセントになっているということでしょうか。

●事業担当：移転戸数につきましては、必要となる移転戸数が 99 戸でそれが全て完了しているということでございます。黄色の未着手部につきましては造成等が完了していないところもございますが、建物がないところでございます。

○委員：黄色の部分では、移転が発生していないということでしょうか。

●事業担当：黄色の部分についても一部移転が必要なところがありましたが、それは既に完了しております。

○委員：あと、今回の事業に関係する部分ではないのですが、もう 1 点。

アクアラインによって神奈川県と結ばれている、しかも他県との入口が海を経由しているという点ではこの地域だけでなく、千葉県全体にとっても大事な玄関口になるという点でとても大事な事業かと思います。

ただ、木更津市の話になるかと思いますが、ここが玄関口となって発展していく反面、既存の駅前等の他の市内の玄関口であったり、地域の発展とのバランスも重要です。

おそらく、そうしたバランスも考えられた計画になっていると思いますが、そこを御注意いただければと思います。

こちらは質問というよりコメントです。

●事業担当：ありがとうございます。

○会長：駅の方は少し元気がなくて、こちらの方は非常に元気があるというところで、整合したまちづくりが必要かと思います。

他にいかがでしょうか。

○委員：感想みたいになりますが、この地区は高潮や津波、小櫃川の浸水想定区域内に入っていると思います。災害の面で、気候変動への適応を考えると、この地域はせめて J R 線のあたりまで撤退した方が良いと思っております。これからのことを考えると、ここに誘致するという点については疑問を感じます。

○会長：高潮対策等を別途進めていると思うのですが、わかるようでしたら御説明をお願いします。

●事業担当：確かにハザードエリアの対象になっていますが、今回造成でかなり盛土をして、造成高を上げております。

○会 長：確かに、かさ上げや地盤などの対策も行った上で、この地区の開発をしたと私も聞いた覚えがあります。

とはいうものの、海に近く、川に挟まれたところですから、気候変動等もありますので、対策等が必要であれば講じていただければと思います。

その他いかがでしょうか。

○委 員：総便益のところで下水道の有無が入っていましたが、今回の事業では下水道の整備は含まれているのでしょうか。

●事業担当：区画整理とは別事業として、下水道の事業が入っています。

便益の中では、この区画整理と下水道を一体で評価をさせていただいています。

○委 員：別事業ですが、便益の中には入れるという形ですか。

●事業担当：そのとおりです。

○委 員：下水道の普及状況はいかがでしょう。

●事業担当：整備率としましては、約95%ということでございます。

○委 員：わかりました。ありがとうございます。

○会 長：便益のところで、事業費も上がりましたが、便益もそれ以上に大きく上がったということですが、これはヘドニック法でやっていますので、要するに土地の引き合いがあって、地価が上がったという解釈でよろしいでしょうか。

●事業担当：そのとおりです。元になっている地価公示の上昇がかなり大きかったというところがございます。

○会 長：非常に旺盛な需要があると聞いていますので、それが反映されたということですね。

●事業担当：はい。

○会 長：わかりました。その他いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、意見をまとめたいと思います。浸水リスク等の問題について御指摘ありましたが、それはぜひしっかりと対応し、必要であれば対応していただきたいと思います。

それ以外については、異論等ございませんでしたので、土地区画整理事業金田西地区について、対応方針案のとおり、事業の継続を了承としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

御異議ありませんでしたので、本審議会の意見としては対応方針案のとおり継続と決定させていただきます。ありがとうございました。

●事業担当：ありがとうございました。

○会 長：以上で、議事（１）を終了いたします。

■議事（２）その他

○会 長：次に、議事（２）その他について、事務局から何かございますか。

●事務局：事務局でございます。今年度、第４回の審議会については、３月に開催を予定しております。後日、正式な日程を通知いたしますので、よろしくお願いいたします。

○会 長：委員の皆様からは、何かございますか。

(意見なし)

長時間にわたり、議事進行に御協力いただき、ありがとうございました。

以上で、本日の議事は全て終了しましたので、事務局に進行をお返しいたします。